

# 活動情報



第 19 号



## JAふくおか嘉穂の「あまおう」出荷開始！

### － 管理の徹底と適期収穫で安定出荷、出荷量増大を目指す －

JA ふくおか嘉穂いちご部会は、生産者 43 名、面積約 6.7ha で栽培に取り組んでいます。

今年は 11 月 10 日から出荷が始まっており、出荷基準の確認や、今後の栽培管理、昨年度の反省を踏まえた収穫・調製の注意点を部会員全員で共有するため、11 月 12 日、17 日に出荷会議を開催しました。

会議では、普及指導センターから、現在の生育状況と今後の栽培管理について説明しました。特に、良品出荷のために摘果、玉出し等の管理の励行、厳寒期の前に樹勢を強めるための栽培管理について、なぜその管理が重要なのかにスポットを当てて解説しました。

今年度は梅雨明けが早く、その後の猛暑や 8 月中旬の大雨等により、育苗時や定植後の管理と高温対策に大変苦勞を強いられましたが、現地講習会の開催や県外先進産地から講師を招いての意見交換、新規就農者を中心としたほ場巡回を実施し、栽培技術の向上に努めてきました。その結果、一部で炭疽病の発生があるものの、生育は概ね順調で、品質のよいものが出荷されています。

普及指導センターでは、今後もイチゴの高品質安定生産と産地の活性化に向けて、的確な指導を行うとともに、関係機関と連携し、農業者を支援していきます。



出荷会議での目合せの様子



ほ場巡回の様子